

米沢市教育委員会 会議録

令和4年5月18日（水）

開会 午後4時00分

閉会 午後4時45分

1 出席委員

教育長 土屋 宏 委員 神尾 正俊 委員 佐藤 晃代
委員 我妻 仁 委員 渡邊 美智子

2 出席職員

教育管理部長 森谷 幸彦 教育指導部長 山口 玲子
教育総務課長 高橋 利明 社会教育文化課長 小田 浩昭
スポーツ課長 佐藤 恵一 学校教育課長 植木 修
適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純 教育総務課長補佐 米原 裕美
教育総務課総務主査 佐藤 真英 教育総務課主査 伊藤 和香子

3 傍聴人の有無 無（一部非公開）

4 会議録の承認

令和4年4月20日開催分

5 議事

議第 15号 令和4年度一般会計教育関係補正予算（第1号）について

6 報告事項

- (1) 芸術の杜における灯油漏れへの対応について
- (2) チャレンジデー2022 in 米沢の実施について
- (3) その他

7 その他

教育長 教育委員会を開催する。初めに会議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により原則公開となっている。本日の会議の案件について

は、議第15号が市議会の議決を経るべきものであることから、議事については非公開としたいと思う。この件について、ご異議ないか。

———異議なし———

教育長 異議なしと認め、本日の会議は一部非公開とする。

———会議録の承認———

教育長 議事に入る。議第15号令和4年度一般会計教育関係補正予算（第1号）について説明をお願いする。

教育指導部長 ———資料により説明———

教育長 ご質問等いかがか。ご承認いただいてよろしいか。

———異議なし———

教育長 ご承認いただいた。次に報告事項に入る。（1）芸術の杜における灯油漏れへの対応について説明をお願いする。

教育管理部長 概要について話をさせていただきたい。その後、担当課長から詳細について報告させていただく。教育委員の皆様には、先月27日に第一報として電子メール等で報告させていただいたが、今年の春、旧南原中学校の校舎をリノベーションしてオープンした芸術創作活動施設、通称「芸術の杜」において、各部屋のFF式の暖房機に給油するための外部配管から灯油、約500ℓが漏れ出した事故が発生したものである。教育委員会所管の施設としては、平成30年に市立北部小学校において灯油漏れの事故が発生しており、再びこのような事故が発生し、南原地区を中心とした市民の皆様、教育委員の皆様には大変ご心配をおかけしている。心からお詫び申し上げます。今後は発生の原因を検証し、配管設備の改修を進めることは当然ながら、灯油が漏れた箇所と施設の周辺等について土壌の調査を行い、その結果に基づいて、その後の対応について検討していきたいと考えている。また、併せてその他の公共施設等についても同じような事故が発生しないよう点検を進めながら再発防止に努めていきたいと考えているところである。

社会教育文化課長 ———資料により説明———

教育長 ご質問等いかがか。

我妻委員 3月16日にあった地震は震度5弱の大きなものだったので、家の内外がどうなったか心配になり、私も含め点検した方もいらっしゃると思う。この時に職員の見視による施設の点検は行わなかったのか。教えていただきたい。

社会教育文化課長 翌17日に建物内部の確認のため職員が出向き、内部に異常はなかったことを確認している。配管については、屋外の露出した状態にあり、屋根の雪下ろしを行ったことにより、完全に雪の下になっており、かなりの積雪量があったため確認できなかったものである。

我妻委員 市として、これからどう対応するのか。瑕疵担保責任の問題はどうか。改

修設計を行った設計事務所に現場確認を依頼し、灯油漏れの原因の見解を求めているが、その見解を読む限りでは、やむを得なかったという意見に受け取れるのだが、あくまでもこれは設計当事者の主張だと思う。気になるのは外部に油配管がある8施設中、2施設に同様の継手を使用されているということである。外部で、しかも細長い建物でかつ改修を繰り返し、地盤も基礎も或いは耐震補強も異なるところに配管する以上は、様々な揺れがあった場合に当然揺れも変わり、こういった事象が起こりうる、設計監理を行う上でかなりのリスクが存在するという事を設計事務所は想定できるのではないか。この地震により他の施設で灯油漏れは起きていない。専門的な技術の話になるが、改修をして間もなく震度5弱の地震でこのような事故が起きたということは、設計監理と施工にどういう問題があったのか、技術的なことや様々な面で瑕疵担保責任についてどうなのか、ぜひ内部で検討していただきたいと思う。

社会教育文化課長 工事は建築住宅課に委託発注したものである。瑕疵担保についての建築住宅課の見解は、設計事務所の見解にもあるように、灯油漏れの原因は耐震補強された大規模な木造建築物が地震によって想定しえなかった複雑な挙動をし、配管継手が追随できずに生じたものと認識している。受注者は設計図や国交省の標準の仕様に基づきながら、様々な施工、承認図等を提出し、市が承諾後、施工を行っている。また、現場での材料検査をはじめ、段階検査を重ねながら、完成検査も終了している。工事目的物が契約の内容に従っていない場合などにおける瑕疵担保には当たらないものと認識している。今回の事象は建物固有の特性も影響したのではないかと考えている。しかし、建物の挙動を見据えて設計や施工することは非常に難しいことになるが、全体的なことを考えれば、そこまでの技術的な工夫があれば、なお良かったのではないかということである。

我妻委員 設計及び施工の事業者に対して、今回のような地震による破損を想定することはなかなか難しく、想定外の動きがあったということで瑕疵担保には当たらないのではないかということだが、通常の施設の配管よりかなり長い配管であることを考えれば、地震があれば継手にどういうことが起きるのか想定すべきであり、想定するのが設計業者の責任だと思う。経年劣化したものであれば地震による影響は仕方ないと思うが、設計、建設後すぐこのようなことが起きたということを考えると、それなりの責任を感じていただきたい。瑕疵担保までいなくても、これから改修を伴うものについては、設計業者と費用負担について協議いただきたいと思う。

教育管理部長 実際に工事を担当していただいた建設部の見解は社会教育文化課長が申し上げたとおりである。実際に施設を預かり、管理する立場である私どもとしては、我妻委員のご意見と同じ気持ちである。今後、議会等に同様な報告をする

中であって、委員と同じようなご意見やご質問があることが想定されるので、建設部、場合によっては契約検査課を含め協議、検討させていただきたいと思う。

我妻委員 お願いする。

神尾委員 5月下旬から6月上旬に土壌の状況把握のためボーリング調査を行うということだが、4月24日に灯油漏れを発見したことからすると、1か月以上経ってからの調査実施ということになる。それまで地下水への影響等は大丈夫だったのか。差し支えなければ、設計及び施工業者を教えていただきたい。また、今回の灯油漏れにおいて、灯油代、改修工事を含め、どれくらいの損害があったのかお聞きしたい。

社会教育文化課長 灯油漏れから調査までの間に大型連休が入り、その後からの対応となったことから、この時期になったものである。地下水への影響については、今時点で近隣住民の方からの連絡はない。地質調査については、直近では南原コミュニティセンターの建設時に実施しており、深度5mまで掘っても地下水は確認されなかったと報告されている。平成3年に南原小学校も地質調査を実施しており、その時の調査では深度15メートルまで掘っても地下水は出ていなかったという報告がある。南原のこの周辺については、地盤が固い上に地下水の位置はかなり低いところにあるという情報は得ているところである。設計業者は山形市の株式会社鈴木建築設計事務所である。施工業者は米沢市の六興整熱工業株式会社である。損害については調査しているところである。

渡邊委員 再発防止策の中に今後の設備配管工事において、この継手を使用しないとあるが、現在、8施設中2施設でこの継手を使っているということだが、今後また大きな地震が発生した時や、何かしら想定できることがあった場合に、この2施設の継手を変えなくて大丈夫なのか。可能であれば、この2施設はどこなのか教えていただきたい。

社会教育文化課長 2施設は北部小学校と中部コミュニティセンターである。

教育管理部長 昨日、建築住宅課に確認したところ、この2施設において地震による被害は発生していないということから、このままと聞いている。

渡邊委員 数年前に北部小学校給食室周辺で配管の老朽化による灯油漏れが起きたことがあった。児童への影響について心配なこともあったことから、この継手が北部小に使用されているとお聞きして、将来的に不安だと思ったのが率直な感想である。今後は使用しないとする継手を、現在も使用している施設があり、それをそのままにしていくということであれば、そこの管理を徹底していただくようお願いする。

教育総務課長 北部小学校の灯油タンクの管理方法については、基本的に週1回必ず灯油タンクの残量を確認している。冬期間も含めて残量の管理をさせていただいて

いるので、ご了解いただきたい。

佐藤委員 自宅のこととして考えた時に、例えば、リフォームしたばかりの家が3月の地震により破損してしまった場合、リフォーム業者に何とかならないか交渉すると思う。公共施設なので個人宅とは事情が違ふかもしれないが、設計業者や施工業者と話し合っていていただくと良いと思う。12月15日に500ℓ給油し、その日にFF式温風暖房機を2、3時間使用したのみで、あとは全く使用していないのであれば、このような設備ではなく、他の古いコミュニティセンターのように各部屋にストーブを置いて、灯油缶から給油すれば良いのではないか。改修してもまた同じことにならないか心配である。

社会教育文化課長 南原中学校として使用していた時は各部屋にFF式ファンヒーターを設置していた。ファンヒーターにタンクがあり、タンクに灯油を詰めて使用する型だった。芸術の杜として整備する際に、利用者の利便性の向上のために配管を整備し自動給油方式を採用したものである。

教育長 新型コロナウイルスの影響で福王寺さんがこちらへお越しになれないという状況もあり、給油したままの状態でのこのようになってしまった経緯がある。

佐藤委員 今年度もそのようなことが考えられると思う。灯油タンクに灯油が残ったままになり、次年度まで持ち越しになるのはいかがなものか。

社会教育文化課長 芸術の杜として初めて迎えた冬期間であり、福王寺さんがどれくらい米沢にお越しになるか分からなかった。冬期間にお越しになる機会がないのであれば元栓を止めておく等の対応を考えていきたい。

教育長 他にいかがか。教育委員の皆様のご意見を大事にしながら、議会の対応をお願いする。暫時、休憩とする。

———休憩———

教育長 再開する。(2) チャレンジデー2022 in 米沢の実施について説明をお願いする。

スポーツ課長 ———資料により説明———

教育長 質問等いかがか。(3) その他について事務局からいかがか。なければ報告事項を終了する。5その他についていかがか。

総務主査 7月の教育委員会の日程について調整させていただきたい。

———日程調整———

教育長 その他いかがか。委員の皆様からいかがか。なければ、以上を持って教育委員会を閉会する。